

用語の解説

用語	意味
地域づくり	地域住民の豊かな生活の実現に向けて、住民や行政機関が行う様々な取り組み。歴史的なまちなみを活かした景観の整備や、地域の生活環境の向上のための取り組みなど。
コミュニティ 【community】	同じ地域に居住して利害を共にし、政治・経済・風俗などで結びつきの強い人のまとまり（地域社会）のこと。日本語の「共同体」も同じ意味。
のり面の補強	山の斜面や人工的に造成した斜面（のり面）が土砂崩れなどを起こさないようにコンクリートなどで補強すること。
砂防施設の整備	豪雨により発生する土石流の勢いを抑え、人や家などを守るために、小さなダムや段差のある水路などを整備すること。
航路の整備	船舶の通り道である「航路」について、安全に航行できるように海底や河床を掘削して水深を確保したり拡幅すること。
航行システムの充実	船舶が安全に航行するための安全管理システム。 IT技術を活用して船舶の航行状況を遠隔監視するシステムなどのこと。
バリアフリー	障害者や高齢者の方でも楽に利用できるように、移動の時の障害を解消すること。段差の無い歩道の整備、エレベーターやエスカレーターの整備など。
親水空間の整備	海岸や河川、湖などで水と親しめる空間。 水とふれあうことができる空間の整備や水辺の散歩みちの整備など。
道路ネットワーク	道路網（ネットワーク）。高速道路、国道、県道、市町村道などの道路網（ネットワーク）の整備によって自動車の移動がスムーズになる。
広域交通ネットワーク	高速道路や新幹線や特急、飛行機や船舶など、広域的な人やモノの移動のための交通網（ネットワーク）。
交差点立体化	橋や地下道によって交差点を立体化すること。 信号機による交通処理に比べ、自動車の流れがスムーズになる。
バスロケーションシステム	バスの現在位置や到着予測時間をバス利用者に伝えるシステム。 バス停に設置した表示板や携帯電話で情報を提供する。
循環型社会	再利用や再資源化、新たな資源投入の抑制をすすめ、廃棄されるものを最小限におさえる循環型の社会。
CO ₂	二酸化炭素。 地球温暖化の原因として排出量の削減が求められている。
中山間地域	平野の周辺から山地に至る、平坦な耕地が少ない地域。 都市や平地以外の中間農業地域と山間農業地域の総称。
山腹緑化	崩壊した山腹に植栽などで緑化を進め、土砂の流出や崩壊の拡大を防ぐ防災事業の一つ。
近自然工法	地球環境や自然生態系に配慮した工事の方法。 自然により近い形で、河川整備などを進めること。

